

The service club to the YMCA



THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

HP QR コード



“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2026年 4月会報 第448号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Edward Ong (シンガポール)

主 題 信念、愛、行動 Faith,Love,Action

標 語 共に、より強く Together Stronger

アジア太平洋地域会長(AAP) 田上 正(熊本むさし)

主 題 信念と愛を持って行動しよう

Act now with faith and Love!

標 語 YMCA,ユースと共に地域社会に貢献しよう

Contribute to local society together with YMCA and Youth!

西日本区理事(RD) 中井信一(奈良)

主 題 世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!

Let's enjoy the YYY life together with our friends
all over the world!!!

標 語 あなたに寄り添う。あなたを忘れない。

Stay with you. Never forget you.

六甲部長(DG) 柳 敏晴(神戸西)

主 題 温故知新 Visiting Old, Learning New!

標 語 六甲部にウエルビーイング!

We Rokkou-bu aims for wellbeing!

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 地域で見つかる!繋がる!ワイズ活動!

西日本区 4月強調テーマ: RBM(ロールバックマラリヤ)は世界的な取り組みです。国際組織の一員としてマラリヤ撲滅のための献金をお願いします。
地域奉仕・環境事業主任 丹吾 礼(大阪土佐堀クラブ)

2025~2026 役 員	会長:多胡葉子 副会長:福田宏子 書記:若林成幸 会計:小林康男 監査:長尾 亘・風早寿郎 担当主事:橋本 唯 メネット連絡:小林貴美子 直前会長:長尾 亘
事業委員長	Yサ:武田寿子 CS 環境:金岡幸宏 EMC:福田宏子 国際・交流:岡野泰和 広報・プリテン:若林成幸
特別事業 委員長	TIFA/NGO:小林康男 ファンド:郡家 学・多胡葉子 市民クリスマス:若林成幸
交際・交流主査	石田由美子

2026年 4月例会

日 時: 2026年 4月 8日(水)18時30分

場 所: 宝塚市西公民館ホール

会 費: 1,500 円

ドライバー: 福田宏子・青柳美知子

開会点鐘 会長 多胡葉子

ワイズソング 「いざ立て」

聖書・祈祷 長尾 亘

ゲスト・ビジター紹介 会長 多胡葉子

会 食

卓 話 「養生訓にも記されている

シニアがハタラクくことの意味」

健康・生きがい就労ラボ」理事長 遠座俊明 氏

委員会報告

YMCA報告 担当主事 橋本 唯

誕生日のお祝い 会長 多胡葉子

ニコニコ・ファンド

閉会点鐘 会長 多胡葉子

4月誕生日	24 石原美生子
3月例会実績	会員在籍数(A) 17名 例会出席総数(B) 21名 (内訳) 会員(C) 12名(内Zoom 1名) メネット・アソシエト 6名(内Zoom 2名) ゲスト・ビジター 4名(内Zoom 0名) メイクアップ(内数D) 1名 会員出席率 C+D/A 70.6% 例会充足率 B/A 123.5%
3月実績 ここにこ ファンド	ニコニコ 6,800円 (累計 42,500円) ファンド タカラムネ 11,800円 (累計 39,500円) 真菰茶 8,000円 (累計 17,485円) その他 0円 (累計 1,800円) 合 計 19,800円 (累計 58,785円)

今月の聖句

「あの方は復活なされて、ここにはおられない。」

(マルコによる福音書 16 章 9 節)

随 想

間もなくイースターを迎えます。私には、この時期になると繰り返し読み返している文章があります。それは、映画監督の是枝裕和さんが盟友である樹木希林さんの死に際して綴られた文章です。

「人が死ぬとは、その存在が、普遍化することだと考えています。私は母を失った後、逆に母という存在をあらゆるものの中に、街ですれ違うあかの他人の中に発見できるようになりました。

今回の別れは、あなたという存在が肉体を離れ、あなたが世界中に普遍化されたのだと、そう受け止められる日が、残された人々にいつか訪れることを心から願っています。」

死とは、大切な人が永遠に失われてしまったということなのではない。そうではなく、その人の存在が「普遍化」し、「偏在化」されたのだということ。だから、「いつでも、どこでも」、その人とのつながり確かめることができるのだと、是枝さんは語られたのです。

是枝さんの文章は、マルコ福音書の復活描写を連想させます。

4 つの福音書の中で最も古いマルコ福音書の本文(16 章 1-8 節)には、「復活のイエス」が登場することはありません。そこに書かれているのはただ、イエスの亡骸が納められていたはずのお墓が「からっぽ」であったということだけです。けれどもそれは、「イエスの不在」を伝えるものなのではなく、(是枝さんが語られるように)、「普遍化・偏在化されたイエス」というメッセージを伝える描写なのではないかと思うのです。イエスは、「ここ(墓の中)」に閉じ込められてはいない。だから、あなたたちは「いつでも、どこでも!」、復活のイエスと出会い直し、その存在を身近に感じ取ることができるのだと、マルコ福音書は語りかけているのではないのでしょうか。

たとえ死によっても、決して奪われることのない命のつながりがある。そんな希望のメッセージを心に刻む者でありたいと願っています。

甲東教会牧師 新堀真之

ゲスト・スピーカー:遠座俊明氏のプロフィール

1982 年早稲田大学建築学科卒業。大阪ガス入社後、各事業部門を経てエネルギー・文化研究所主席研究員として、活力ある高齢社会づくり、定年後の生き方を研究(～2023 年 6 月)。

2018 年高齢者が無理なくはたらく仕組み”健康・生きがい就労”事業を宝塚市と共創後、それを発展させるべく 2021 年在職中に会社の了解を得て NPO を立上げ、現在、大阪府、兵庫県、奈良県と提携し 14 の市町で同事業のサポートを行うほか、高齢者のデジタル格差解消などに取り組む。自治体、企業等からの依頼で講演や高齢者向けスマホ講座を多数実施中。2022 年政府が推進する“アジア健康長寿イノベーション賞”で準大賞受賞など



3月の例会報告

第一例会 報告

今回のゲストスピーカー前原祐作さんをお招きし、経歴から現在のお仕事まで、とても興味深いお話しをお聞きすることができました。

現在は、京都の河原町に位置する QUESTION ビル(京都信用金庫)の中にある、コミュニティキッチンやカフェ・バーの運営を代表取締役として担っておられます。コミュニティキッチン DAIDOKORO では、主催される方々の思いを聞き取り、食事内容や雰囲気まで、お客様に合わせた形で宴会を企画実施しているそうです。また、前原さんは、家や工場、店ではない場所づくり、人々がいろいろな形で食べ物に関わるあり方を模索されていきました。前原さんの発想はとても面白く、聞いている私たちもウキウキとさせられ、いつか宝塚ワイズもぜひここでイベントを実施させてほしいという気持ちになりました。

たくさん質問をさせていただいた後、時間となりました。

その後、委員会報告、誕生日のお祝い、また男性陣からお菓子がたくさん詰まったホワイトデーのプレゼントをいただき、楽しい例会のひと時を終えました。

橋本 唯



第二例会 議事要旨

日時 3月18日(水)午後6時00分～8時30分

場所 宝塚市立西公民館104号室

出席 多胡会長、青柳、石田、岡野、金岡、小林、郡家、武田、福田、長尾、若林。

ゲスト 関西を旅行中の千葉クラブ 青木一芳・清子夫妻を迎え懇談。

議事要旨

1)4月例会に関して

- ・日時・場所:4月8日(水)午後6時30分～8時30分、西公民館ホール
- ・スピーカー:遠座 俊明氏

早稲田大学理工学部卒・大阪ガスに入社

退職後 NPO 法人「健康・生きがい就労ラボ」理事長、紙芝居サークルちょうちょのメンバー

演題 「養生訓にも記されているシニアがハタラクことの意味」

～自治体が導入を始めた介護・認知症予防の新たな事業とは～

2)5月例会に関して

- ・一案として、直前理事 鵜丹谷 剛ワイズ・次期ユース事業主任 上杉 徹ワイズを招き、西日本区の新たな方針～「Y サとユース」分割～の考え方と今後の展望を聞き、話し合う。
- ・両氏の事情で実現が困難な時は代替案を検討。西谷地区の野外活動施設の進捗状況・宝塚市の歴史勉強会などのアイデアが出た。

3)きらりと輝くアート展に関して

日時:3月26日(木)～29日(日)(但し、26日は搬入日)、

場所:兵庫県立原田の森ギャラリー(神戸市灘区 王子公園の一角)

28日午後展示場にて紙芝居サークルちようちよによる紙芝居上演

受付当番:期間中、午前9:50～13:30・午後13:00～16:00に分かれて各クラブ3人が出て受付などを分担。

27日(金)午前 神戸クラブ 午後 西宮クラブ

28日(土)午前 神戸西クラブ 午後 神戸ポートクラブ

29日(日)午前 宝塚クラブ 午後 芦屋クラブ

(注:学園都市クラブは不参加、29日閉会後の撤収作業は部CS担当ほか有志で実施)

宝塚クラブの分担:統括:金岡・多胡、29日・福田・石田・長尾

なお、28日(土)13時～ 紙芝居ちようちよ出演、多数の来場を期待

4)第2回評議会(3月15日開催)報告と議案:部則改定に関するクラブ見解の取り纏め

- ・評議会前半は、部長・各主査・各クラブ会長の中間報告が行われたが、会計報告も行うべきとの意見があった。
- ・後半で、部則改定案(部長提案・事前に部則検討委員で立案)が上程されたが、各クラブへの周知に不備があったことから書記が各条文の読み合わせのみを行った。その後、若干の質疑応答があった。
- ・今後、各クラブへ改正案の周知→各クラブの意見書の取り纏め4月19日→検討委員会で再見直し→6月末までに修正案を各クラブに提示→7月評議会へ再提案、の手順で進めることを確認した。
- ・宝塚クラブの意見書取り纏めは若林が行う。

5)次期宝塚クラブ役員に関して

1月に協議したクラブ各事業委員の構成を見直し、次の通り決定した。(下線は委員長を示す)

役員	事業委員会	特別事業委員会
会長:福田	Yサ・ユース:武田、青柳・安行・橋本	TIFA:小林、多胡・鯖尻
副会長:金岡	CS・環境:金岡、多胡・風早	ファンド:郡家、金岡
直前会長:多胡	E M C:長尾、鯖尻・若林	OneXmas:若林、石田・多胡・長尾・片西・道幸
書記:若林	国際・交流:岡野、石田・真藤	
会計:小林	広報・ブリテン:若林、風早・重松	
メネット連絡:小林		
貴		
Y主事:橋本		
監査:長尾・風早		

6) 2028年に40周年を迎えるにあたっての協議(延期)

(以下 次ページに続く)

7) 西日本区・部・クラブなどの周年記念例会等(出席予定者)

- ・4月18日(土)11:30～大阪サウスクラブ創立70周年、シティプラザ大阪(石田)
- ・4月18日(土)16:30～京都パレスクラブ55周年、ホテルオークラ京都(岡野・長尾・石田)
- ・5月23日(土)14:00～岡山クラブ設立60周年記念、ラヴィール岡山(石田、長尾、多胡)
- ・4月26日(日)西日本区オンライン事業懇談会 ZOOM
 - 14:00～YMCA サービス事業 15:00～ ユース事業 16:00～ 地域奉仕・環境事業
 - 19:00～ EMC 事業 20:00～ 国際・交流事業

8) 4月号 ブリテン

執筆分担:3月第1例会→橋本、第2例会→若林、聖書随想→新堀、第2回評議会→多胡
 きらりアート展→金岡、国際協力フェスタ→小林、YMCA→橋本、誕生日→石原
 YMI→岡野、

新設『雑感』・ブリテンは報告事項ばかりとなり新鮮味に欠ける。新たに『雑感』欄を設け、「ひらめいたこと・思いついたこと・提案・意見」などを自由に投稿してもらいたい、と提案があった。

匿名希望・ペンネームでもよい。字数に制限は設けない。記事締切:3月29日

9) YMCA留学生支援に関して

新たに来日する留学生に対して日用雑貨(タオル・ハンガー等)の献品要請が来ているが多くで適当な物品が供出できない現状にある。物品に代えて献金としては如何か、YMCAに提案し検討してもらう。
 (文責:若林)

六甲部第2回評議会

3月14日 柳部長期の第2回六甲部評議会が神戸YMCAチャペルで開催された。

宝塚クラブからは委任状提出者を含め13人が出席。全体の出席者43人、委任状15人で評議会は成立することが宣言され議事が始まった。

まず六甲部柳部長から中間報告、次に六甲部主査、委員長、そして7クラブ会長による中間報告がスムーズに行われた。その後、「六甲部部則改定(案)」の提案があったが、議案が事前に配布されなかったことから、とりあえず条文の説明だけを行い、若干の質疑を行った。そして、各クラブに持ち帰りクラブで協議・意見書を提出することになった。それをもとに六甲部役員会・部則検討委員会でとりまとめ、次期の評議会(7月)で再度、審議することになった。以上で全ての協議が終わり、閉会となった。今回は事前に資料が送られてこなかったことは反省すべきである。

この日に合わせ宝塚クラブからのファンダタカラムネの販売は名物?神戸クラブのチョコレートの販売と共に完売の嬉しいファンダ収入となった。



宝塚市国際協力フェスタ

宝塚市国際交流協会(TIFA)主催の「宝塚国際協力フェスタ」が2026年3月14日(土)15日(日)の両日宝塚市立国際・文化センターで開催された。

ギャラリーでは、わが宝塚ワイズメンズクラブをはじめ学生団体同志社SALT(フィリピン)、フィリピンAKAYプロジェクトをともに創る会、ネパール教育開発機構(NEDO)、日本ベネズエラ友の会宝塚、暁グリーンクラブ(タイ)、民間大使などTIFAに所属するNGO団体の展示ブースが設けられ、それぞれ活動内容を展示するとともに支援のための物販を行った。

午前中にはギャラリーの一角で各団体の活動報告会が行われ、宝塚クラブは若林メンがパワーポイントを使用してワイズメンズクラブ国際協会についての紹介やYMCAとの関係等その事業活動内容についての報告を行った。

また午後からはお楽しみタイムとして14日にはインドネシア伝統舞踊の演技、15日には南インド伝統舞踊の演技があり、多くの観客の来場があった。

おかげさまで、ファンドとして、たかラムネ 3,000円、真菰茶 8,000円、寄付金 8,450円
合計 19,450円の収入があった。皆様ご協力ありがとうございました。

小林康男



つなげよう！平和のバトン



千葉クラブ、青木ワイズご夫妻を迎える

先日千葉クラブの青木一芳、清子ご夫妻が宝塚クラブの例会にお越し下さいました。毎年、小旅行を楽しんでおられるようですが、今回はDBCの大阪土佐堀クラブの例会に出席され、そして、次の日に宝塚の第2例会があるのを調べられて連絡してこられました。昼間は多胡会長、福田ワイズ、長尾が、宝塚ホテルロビー、歌劇場、手塚治虫記念館を案内し、第2例会にお連れしました。そして、甲子園球場に行った事がなかったらしく、次の日は、ホテルのテレビで選抜高校野球の開会式を見てから、自分で指定席を買って第2試合を見て千葉に帰られました。私にワイズメンズクラブの事を色々教えてくださいました1人です。

長尾 亘



「きらりと輝くアート展」高評価にて開催

2026年3月27日～29日の3日関、兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリーにて、主題の展覧会が開催されました。この取り組みは「障がいのある方に作品を発表できる場を提供しよう、少しでも社会と繋がりをもてるようお手伝いをしよう。」という思いで始められたワイズメンズクラブ六甲部のCS継続事業です。今回は、六甲部各クラブが関係する14の事業所を通じて、49名の出展者から130点を超える、すばらしい作品の数々を展示することができました。

どの作品も、非常に素晴らしい出来栄で、水彩画、陶芸、織物、写真、デジタルイラスト、木工・手芸・書道3Dハンドクラフト、絵手紙、えんぴつ画、立体貼り絵、立体紙作品等々さまざまなジャンルの作品がそろいました。微笑ましい作品から、とてもレベルの高い作品まで多く来場者に感銘を与えました。出展頂いた方々もご家族と一緒にお見えになり、作品の前で写真を撮られている姿は印象的でした。

運営の面では、実行委員会のメンバーが会合を重ね展示を行うまでは順調に進みましたが、鑑賞者集めに大変苦労しました。新聞社やFM局、県庁、社会福祉センター等へのPRに加え、急遽、宝塚クラブの例会にお招きした「紙芝居サークルちょうちょ」さんに出演を依頼。出前／紙芝居を中日にサブイベントとして2回公演を実施、来場者も皆さんなつかしく聞きながら、笑いながら、参加型で楽しいひとときとなり盛況でした。最終的には3日間で、延べ300名の来場を頂き、展覧会の評価も高評価を得ることができました。次回は是非出品させて貰いたいとの要望もあり、長く続く事業として回を重ねていきたいと思えます。

金岡 幸宏



QRコードを写メすると
きらりと輝くアート展の
ビデオが視聴できます。





神戸 YMCA 専門学校・コミュニカ学院 日本語スピーチコンテスト

ワイズのみなさまのご協力のおかげで、3/4(水)にスピーチコンテストが無事終わりました。両校あわせて 21 名の学生がスピーチを披露しました。初級の学生は日本語で日本での体験や、不思議に感じたことなどを共有し、上級の学生は留学生活において感じたことなどを発表し、どのスピーチも素晴らしいものでした。ご支援いただき、心より感謝申し上げます。



いつも YMCA の諸活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。2026 年度、神戸 YMCA は「会員」「つながり」「ボランティア」を強調点とし、歩みを進めてまいります。今の社会において私たちが推進していくべきことを一人一人が着実にやっていけるよう、皆さまと共に歩んでいきたいと思っております。2026 年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2026 年度の神戸 YMCA 大会(総会)は、6 月 27 日(土)の予定です。

詳細は、神戸 YMCA 大会実行委員会にて協議中です。確定次第、みなさまに共有いたします。

担当主事 橋本 唯

YMI
Topics

国際大会 2026、会場をペナンに変更

現在の中東情勢の不安定化により、2026 年 9 月 10 日から 13 日にドバイで開催予定の国際大会 2026 はマレーシアのペナン島ジョージタウン市で行われることになりました。

ユネスコの世界遺産に登録されているジョージタウン市は色彩豊かで多様な文化と個性豊かな繋がりをもつ都市です。食の都としても有名です。歴史的な街角から世界的に有名なストリートアートにいたるまで独特の食文化とホスピタリティに包まれる体験は一生忘れられないものになるでしょう。

大会日程はそのままにワイズの夢のお祭りはペナンに引き継がれました。ぜひグローバルな仲間とともにダイナミックな体験をシェアしましょう！

今回の開催地の変更に伴い、みなさんに十分な時間をもって計画していただけるよう早期登録割引期間(登録費 495 米ドル)を 2026 年 5 月 31 日まで延長いたします。

すでに登録された方は登録はそのまま、まだの方はぜひ今が早期登録のチャンスです。

詳細は 4 月 1 日に発行されるワイズメンズワールドをご参照ください。

大会登録サイトはこちらから
www.ysmen.org/ic2026

岡野泰和



誕生日一言エッセー

父は「真、善、美」を子供達それぞれに名付け、私には美に生き、美を生み、美しく生きる、という思いをこめたとか。喜寿過ぎて今さら何を思わんや～

石原美生子

